

**DATA：小児科**

- 小児科専門医研修施設認定施設
- 主な対象疾患：【小児科一般】上気道炎、気管支炎、肺炎など【感染症】感染症髄膜炎、敗血症、腎盂腎炎など【呼吸器疾患】気管支喘息、クループ、長期間の咳嗽など【心疾患】先天性心疾患、川崎病、不整脈など【消化器疾患】腸重積、肥厚性幽門狭窄症、潰瘍性大腸炎など【神経筋疾患】てんかん、発達障害、脳形成障害など【血液・悪性腫瘍】白血病、悪性リンパ腫など【腎疾患】ネフローゼ症候群、水腎症など【内分泌疾患】甲状腺疾患、成長ホルモン分泌不全症、副腎疾患など【代謝疾患ほか】糖尿病、肥満・高脂血症・高血圧などの生活習慣病など【先天代謝異常症】フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症など【先天異常】染色体異常症、先天奇形症候群、骨系統疾患など【遺伝子異常】プラダウイリ症候群など

## 高い専門性で地域医療に貢献

当科は1956年の開設以来60余年にわたって地域の先生方とともに子どもたちの健康を見守ってきました。地域医療支援病院として求められることのひとつに、専門性の高い医療を提供することがあげられます。当科には7名(1名育児休暇取得中)の医師が所属し、それぞれ専門領域を持っていますが、とくに内分泌異常、代謝異常の分野は当科を特徴づける分野といえます。例えば低身長の場合、成長ホルモンや甲状腺ホルモンの分泌異常も原因として考えられるため、検査を行ったうえで、適切な時期および量のホルモンを投与し、症状を改善します。成長度合いが千差万別な小児期の治療には経験が必須です。また脳下垂体、副腎などの内分泌異常の経験も多く、市川地域で行われる内分泌代謝疾患スクリーニングで異常値が出た乳幼児のほとんどは当科を受診されます。検査の後、疾患があれば当科での治療へと移行します。こうして症状が重篤化せず日常生活を取り戻した方も少なくありません。



## すべての地域の子どもたちを、支える

さらにこの4月、小児の心臓疾患、肺高血圧症を専門とする福島医師が新しく部長に着任したことにより、今後は先天性の心臓疾患をはじめ高度な医療の提供も可能になります。



## チーム医療で幅広く対応

地域医療支援病院は高い専門性を持つことが求められますが、しかし同時に患児の治療のみを行うのではなく、地域のすべての子どもたちの健康を見守る役割も求められます。そのため、あらゆる年齢の疾患を診るという診療方針を掲げています。また小児疾患の特徴は、症状の急変です。外来受付は午前11時までとなっていますが、可能な限り受け入れる体制をとっています。

病棟では小児科専門医、小児救急看護認定看護師、小児薬物療法認定薬剤師や保育士、臨床心理士など、多くの専門職で構成されるチーム医療体制を整えています。さらに患児の家庭・社会・生活環境などに配慮が必要な場合は社会福祉士も参加します。このように患児を取り巻く状況に応じて様々な職種が集まり、診療を行えることは総合病

# 生活環境もふまえた全方位的支援を

小児科

院の強みです。こうした多職種連携の実践こそが、みなさまのさらなる安心につながるものと考えます。

## 地域連携から生み出されるもの

もうひとつ、地域医療支援病院として求められるものは、地域医療機関との連携です。地域医療を担う一員として何が必要かを地域の先生方から学びたいと考え、先生方の診療所を訪問させていただいています。訪問では先生方のお人柄に触れるだけでなく、担当される地域の特徴を知り、子どもたちの生活を感じ、診療を行ううえで重要な生活背景を学んでいます。今後は医療の枠を超え、小学校や幼稚園、保育園などにも足を運びたいと考えています。一方で地域の先生方にも当科を訪問していただき、どのような診療をしているかを見ていただきたいと思います。



こうしたお互いの顔が見える関係を通して、地域の小児医療が必要としているものを一緒に考えていきたいです。

その結果のひとつが、6月から開設された小児アレルギー外来です。地域の先生方との話し合いのなかでアレルギー分野のニーズが大きいと伺いました。近隣地域にはアレルギーを専門とする病院が少なく、治療が必要な場合は遠方まで通わなければならないということでした。

重篤な食物アレルギーは、子どもたちにとっても保護者にとっても、非常に辛い疾患です。このたび病棟での検査や治療体制が整い、食物負荷試験も行うことができるようになりました。生活圏の身近な病院で治療が可能になることでみなさまの負担が軽減し、さらには地域に住む安心感が生まれればと思います。

成長過程である小児の医療は、大人の医療とは異なる特性を持っています。多くの困難な問題を抱えながらも、子どもたちの持つ「生きるちから」の未知なる可能性が、光をもたらしてくれます。治療は彼らの長い将来に大きな影響をおよぼしますが、その適応力によって、成長の中で自ら病気を治していくことも少なくありません。だからこそ、私たちは諦めることなく、地域の先生方とともに小児医療に取り組んでいきます。

### Dr's profile



Hiroyuki Fukushima

福島裕之 医師



#### 出身地、ゆかりの地

広島、西宮、八王子、秋田…などなど

#### 趣味

音楽(サクソスを始めて10年です)

#### スポーツ歴

高校・大学時代にサッカー(今も気持ちが高ぶります)

#### 医師になったきっかけ

人にかかわる仕事がしたかった(建築家の夢と迷いました。安藤忠雄のようになりたかった?)

#### 座右の銘

誠実、謙虚、静かなる闘志(父の言葉)

### 医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)